



議会だより

かたしな

発行 片品村議会

No. 146

2015.10.20



都市との交流を進める特別委員会活動（目黒のSUNまつり参加）

主 な 内 容

- ◆ 平成26年度一般会計・特別会計決算認定 2～3
- ◆ 平成27年度一般会計・特別会計補正予算 4
- ◆ 一般質問で村政を問う、各委員会審査 5～7
- ◆ 委員会の管内視察、目黒区民まつり 8
- ◆ 議会OBの声、議案内容及び議決一覧、議会活動 9～10

平成26年度一般会計決算

歳入決算額	45億 363万円
歳出決算額	40億9,679万円
繰越明許費繰越額	1億6,903万円
事故繰越し繰越額	0万円
実質収支額	2億3,780万円

内 訳

基金へ繰入	1億2,000万円
平成27年度予算へ繰越	1億1,780万円

年度末村債（借入金）現在高	33億8,388万円 （前年度比2億8,729万円増）
年度末基金（預金）残高	17億 683万円 （前年度比1億6,640万円減）

平成27年第6回片品村議会定例会が、9月3日（11日）までの9日間にわたり開催されました。

「平成26年度一般会計及び特別会計の決算認定」「平成27年度一般会計及び特別会計の補正予算」「条例等の一部改正」「片品村振興公社の経営状況の報告」「専決処分の報告」「選挙管理委員会委員及び補充員の選挙」等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

平成26年度特別会計決算

会計名	歳入決算額 (内、一般会計から繰入)	歳出決算額	翌年度繰越額	翌年度繰越額の内訳	
				基金繰入金	H27年度予算へ
国民健康保険	7億8,604万円 (9,863万円)	7億2,641万円	5,964万円	3,000万円	2,964万円
簡易水道事業	1億 724万円 (2,408万円)	9,620万円	1,103万円	0	1,103万円
介護保険	5億 1,841万円 (7,487万円)	4億9,397万円	2,444万円	0	2,444万円
下水道事業等	1億 1,833万円 (8,982万円)	1億 1,279万円	554万円	0	554万円
後期高齢者医療	5,754万円 (2,271万円)	5,578万円	176万円	0	176万円
合 計	15億8,756万円 (3億1,011万円)	14億8,515万円	1億 241万円	3,000万円	7,241万円

観光施設事業	収入 (内、一般会計からの補助金)	支出	利益
収益的収入・支出	1億3,076万円 (9,372万円)	1億3,062万円	64万円
資本的収入・支出	1,378万円 (978万円)	4,228万円	△2,850万円

* 収益的収入・支出については税抜き金額です。収支差は、法律に基づき現金の支出を伴わない雑支出計上のためです。

* 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2,850万円は過年度分損益勘定留保資金で補填しました。
なお、他会計借入金残高は2億6,000万円です。

借入金・預金の現在高

	年度末村債他（借入金）現在高	年度末基金（預金）現在高
国民健康保険	0	1億6,149万円
簡易水道事業	1億8,929万円	2,790万円
介護保険	0	1万円
下水道事業等	4億 295万円	0
合 計	5億9,224万円	1億8,940万円

	年度末借入金現在高	留保資金
観光施設事業	4億3,400万円	1億 802万円

ワンポイント解説

留保資金

現金の支出を必要としない経費で、具体的には減価償却費などが留保された資金です。

専決処分の報告

地方自治法第180条第1項の規定により専決処分の報告がありました。

村道塗川・幡谷線	塗川橋架替工事の変更請負契約	変更前契約金額	177,120,000円
		変更後契約金額	182,314,800円

監査委員の審査意見

- ▶平成26年度の村債は5億3,974万円です。主に片品小学校改築、塗川橋上部工、三松橋改修、消防施設整備、クロスカントリーコース圧雪車庫建築などの他、福祉医療費支給事業等のソフト事業に充当されている。
- ▶村税の収納率は64.6%で前年度より0.8ポイント減、収入未済額は3億2,372万円と前年度より2,333万円増額で、固定資産税の増が主なものである。その未収入額について、今後も適切な処理が必要である。
- ▶地方交付税は19億7,243万円で、前年度より9,377万円減額となり、歳入総額の43.8%を占めている。
- ▶国民健康保険税の収納率は82.4%、一人あたりの診療費は17万9,170円(年間)で、前年度より2,450円増えている。被保険者の高齢化等による医療費の増大など非常に厳しい運営が予想される。
- ▶水道料の収納率は60.4%、一人あたりの1日平均給水量は、346ℓ。堅実な運営を図るために未収金の解消に努力されたい。
- ▶下水道への加入率は56.6%と依然低く、適切な対応を望む。
- ▶職員の資質向上を図り、住民の期待に応える行政執行がなされるよう一層の努力を希望したい。

片品村振興公社(株)の経営状況の報告

公社の総売上 3億5,409万円
 村としての益金 1,352万円
 公社税引後当期利益額 11万円

事業概要

▶ 花の駅・片品「花咲の湯」

入込客数 142,349人
 (村外利用者118,018人、82.9%)
 売上代金 2億2,483万円
 仕入代金 8,140万円
 販売管理費及び公社手数料 1億3,182万円
 益金 1,161万円

▶ 寄居山温泉

入込客数 38,970人
 (村外19,658人、50.4%)
 売上代金 1,727万円
 仕入代金 234万円
 販売管理費及び公社手数料 1,267万円
 益金 226万円

▶ 旅行部

年間受入人数 4,967人(延べ12,294人)
 売上代金 7,007万円
 仕入代金 5,553万円
 販売管理費及び公社手数料 2,408万円
 益金 △954万円(村委託金対応)

▶ かたしなや

売上代金 4,192万円
 仕入代金 2,095万円
 販売管理費及び公社手数料 2,132万円
 益金 △35万円(公社売上金対応)

財政の健全化判断比率の報告

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
H26年度	—(赤字0)	—(赤字0)	5.5	—
早期健全化基準	15	20	25	350

* 片品村のそれぞれの比率については早期健全化基準に該当せず、大変良好な比率となっています。

ワンポイント解説

実質公債費比率

村の税金等、毎年決まって入るお金に対して、借金返済額がどの程度の割合になるかを示す指標です。

* 数値は小さいほどより健全です。

片品村の公営企業の資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	備考
観光施設事業特別会計	—	資金不足なし
簡易水道事業特別会計	—	資金不足なし
下水道事業等特別会計	—	資金不足なし

ワンポイント解説

資金不足比率

資金不足による経営状況の悪化の度合いを示す指標です。

* 資金不足が無い場合は「—」表示、20%以上は経営健全化計画を定めなければなりません。

平成27年度9月補正

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計	4,265,956	254,044	4,520,000
国民健康保険	921,470	26,254	947,724
簡易水道	82,200	10,034	92,234
介護保険	526,915	23,437	550,352
後期高齢者医療	58,678	1,259	59,937
下水道事業等	86,398	△27	86,371

主な一般会計補正

(単位：千円)

歳入		歳出	
地方消費税	24,900	民生費	23,564
地方交付税	153,736	衛生費	5,329
県支出金	8,942	農林水産業費	25,053
繰入金	2,450	土木費	70,145
前年度繰越金	67,803	教育費	132,311
村債	△4,800		

前にも答弁していましたが、この関係は大変重要な問題になりますので、任命権者として慎重に対応していきたいと、今もそのように考えています。

答(村長)
計画エリア内で検討したいと考えています。また、先行型交付金はハード整備には不可との国の回答があり、確認後の訂正ですのでご理解をお願いします。

答(副村長)
今回計画している(仮称)尾瀬の郷駅整備場所は、今後検討していくのか。また、調査設計費用について、5月に説明された地方創生先行型交付金事業と異なるのは、担当課長空席によるものであり、早急に課長職を置くべきではないか。

平成27年度一般会計補正予算(第2号)について、こんな質問がありました。

条例の制定・一部改正

■片品村税条例の一部改正

一部改正

番号法及び地方税法の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正。

■片品村国民健康保険税条例の一部改正

一部改正

地方税法の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正。

■片品村手数料条例の一部改正

一部改正

番号法の施行に伴い、条例の一部を改正。

■村議会会議規則の一部改正(議員発議)

一部改正

議会における議員の欠席届の取り扱いに関して、出産の場合の欠席の届出について、新たに規定。

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

選挙管理委員会委員

三浦 良次氏 狩野 行男氏
深見茂利雄氏 金子 彦一氏

補充員

①星野 和雄氏 ②笠原 森吉氏
③萩原 仕氏 ④戸丸 廣安氏

に決まりました。

なお、補充員の補充の順序は指名の順序

選挙管理委員会委員選挙 ワンポイント解説

選挙管理委員は、地方自治法の定めるところにより、選挙権を有する者のうちから議会において選挙で選ばれます。なお、議会は、議員に異議がないときは指名推薦の方法を用いることができます。

第5回臨時会

8月6日、第5回臨時会を開催。訴えの提起について、原案のとおり全員賛成で可決しました。

■訴えの趣旨

被告4名に対し、対象物件について、寄附を原因に所有権移転の手続きを求めるもの。

■訴えの理由

対象物件の土地は、寄附を受け、村道として管理してきたものであるが、登記が死亡した者のままであり、権利関係を明確にし紛争を防ぐための訴えを提起するもの。

■訴えの対象物件

片品村地内 地目 山林 89㎡

■管轄裁判所

前橋地方裁判所 沼田支部

陳情審議結果

9月定例会において審議された陳情は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成27年 8月20日	国際平和支援法案、平和安全法制整備法案の強行に反対する意見書提出を求める陳情書	戦争をさせない利根沼田実行委員会 木村朝次郎他25名	総務文教 常任委員会	継続審査

村政を問う!

一般質問



星野 精一 議員

・はじめに

私は、皆さんと問題意識を共有しつつ進めたいと思います。

世界では、経済発展を優先し環境対策を後回しにして来ましたが。しかし人類による地球環境の破壊は限界に達しつつあります。

農業と観光の村である尾瀬片品がこれからも光り輝き続けるためには、どのような村をつくっていくべきでしょうか。私は環境と循環の二つを重視するのが21世紀の村・国・世界の基本テーマと考えます。

以上の基本認識に基づいて質問します。

問 中学校建設に使用予定の村有林を「循環の森」「百年の森」「22世紀の森」

と名付けて小中学校そして尾瀬高校との共同の学習林として活用してはどうか。

答 (村長)

中学校建設につきましても、木造校舎の建設を考えています。幸いにも村有林の中に57年生育した山林が0.95ヘクタールあります。伐採したあとの活用ですが、南相馬市民の受け入れがきつかけとなり、友好と絆ができました。私たちは、防災の必要性、命の大切さ、支えあうことの大切さを学びました。友好と絆を目的に南相馬市と「友好の森」「絆の森」として記念植樹する予定になっています。

問 村有林の活用についてはまだ、細かい詰めまではないっていいというのでいいか。

また、いろいろのやり方工夫があると思うが。

答 (村長)

なにを植えるか、どういう方法でやるのか南相馬市とこれから詰めていきたいと思っています。

問 森を育てることは、人を育てることにつながるかと、考えておりますが、学習林としての展開に対する認識をお聞きしたい。

答 (教育長)

尾瀬高校とは、連携型中高一貫教育として10年以上の交流事業を続けています。現在は補助事業で整備した、学校周辺のため池などを活用した学習を一緒に実施しています。

問 尾瀬高校存続に関する問題としてこの地区に高校が5つあることについての考えは。

答 (教育長)

尾瀬高校の必要性につきましては、十分認識しています。

問 「循環の森祭り」などを行い、村が「環境」と



中学校建設に使用予定の村有林

「循環」を重視することを外に発信することは、農業と観光のブランドイメージを高めると考えるが、また、毎年、小中学生、尾瀬校生また公募の一般の人々と育樹作業を行うことは新しいタイプの催しを生み出せるのでは。

答 (村長)

「環境」と「循環」を重視した外部発信は、村の発展にとって非常に重要であります。

「世界自然保護会議」において「持続可能な旅行形態」のための国際基準が発表されました。

国内ではまだ普及していませんが、その先駆けとして今年度10月5日から7日まで、「尾瀬片品フォーラム」をNPO法人日本エコツーリズムセンターと共催で開催いたします。

また「片品村収穫祭」「尾瀬ブランド」なども発信力、ブランド力強化の取り組みでもあります。

問 新しい中学校を村民共有のシンボルとするために各地区の共有林から木材の寄附をいただくという考えはあるか。

答 (教育長)

村有林の木材は数十年片品の風雪に耐え環境に適合して生育した立派な木です。新片品中学校は地元の木材を使用した木造校舎として皆様に評価していただくと考えています。村有林の木材を使用することから現時点では、寄附を募る必要はないと考えています。

問 1区から8区までの共有林から木の寄附を受けることによって心が一つになる中学校が出来ると思うが。

答 (教育長)

村有林を使用することで、地元に適した校舎という考えでおります。

問 新しい片品小学校の校名、校歌について検討の経緯をお聞きしたい。

答 (教育長)

小学校の統合につきましても、片品村教育振興基本計画で示され、村立学校のあり方検討委員会を設置いたしました。そこで早急に片品小学校に統合すべきとの答申が出されました。検討の結果、教育委員会も統合の決定をしました。地区説明会を開催し皆様のご理解、

ご協力をいただき、現在に至っています。

校名については、先行統合、完全統合と2段階になったために校歌を変えると4年間で3つの校歌を歌うこととなる場合もあり、片品小学校の校歌を使用することになりました。

問 自分たちの校歌がなくなり片品小学校の校歌を歌うことになるが。

答 (教育長)

内容的には片品小学校に吸収合併という考えです。

さまざまな検討をさせていただいたのですが、複式学級が存在することなどから、結果として吸収合併にならざるを得ませんでした。

・終わりに

人、物、金、情報が国を超えて自由に行き来するグローバルな時代が来ています。だからこそ地球規模で考え地域で行動する、身近な事でも大局視点でとらえて始めることが大切になります。

環境と循環を土台とした村づくりをしていくことが真の地方創生だと確信しています。

討議しました

第6回定例会

総務文教常任委員会

協議事項

一、陳情について
(第3号)

国際平和支援法案、
平和安全法制整備法案
の強行に反対する意見
書提出を求める陳情

意見

国の動向なども踏ま
え、さらに検討する必要
があることから全委員
賛成で継続審査とする。

二、平成27年度

補正予算について

問 どのような児童館
を考えているのか。

答(保健福祉課長)

木造で検討している。

問 児童館以外に何か
入るのか。

答(保健福祉課長)

図書室が入り今の児
童館より大きくなる。



建築中の片品小学校

問 利用開始の予定は、

答(保健福祉課長)

平成29年4月となる。

三、所管事務について

【教育委員会報告】

(小学校の建築現況

について)

- ① 本体工事は工程通り
進捗していて、12月
末までには完成予定
- ② 外構工事はスクール
バスロータリー・児
童通路・駐車場の

舗装及び、北側の転
落防止柵の設置を予
定している。

③ 備品関係はできるだけ
現存するものを使
用するが、椅子と机
については新しいも
ので対応したい。

④ 校庭の整備について
は、不陸整正して水
勾配になるよう勾配
修正をして現状復帰
する。

(中学校建築について)

① 解体工事については、
プールは平成28年3
月までに行い、技術
家庭棟・本校舎は補
助金の関係と、臨時
校舎が7月中旬に完
成する予定で、引越
の後に9月末までに
解体したい。

② 臨時校舎はリース契
約を予定している。

③ 校舎については、木
造平屋建て(漢字の
王の字)、外側は劣化
を考えて検討する。

④ 本体工事の工期を20
ヶ月みて、平成30年
1月末に完成を予定
し引越の準備をして、
平成30年4月の利用
開始を予定している。

総務文教常任委員会先進地視察

一、視察の期日
平成27年7月27日

二、視察の場所
沼田市東原新町
沼田市立沼田中学校

三、視察の目的

① 管内小学校の統合に
向けた作業の参考に
するため
② 片品中学校立替え工
事の参考にするため

四、視察の結果

校舎は昭和36年建て
られ、増改築しながら
使用してきた。北と南
に2棟あり、いずれも
鉄筋コンクリート造り
3階建てで、老朽化が
進み耐震基準が不足し
ているため、既存校舎
を取り壊し、改築する
ことになった。

平成24・25年の2カ
年事業では木造平屋建
の校舎を建築して26年
4月から使用している。

地場産木材を優先的
に使用して、柱や梁に
は集成材が使われてい
て、強度も強く耐久性
にも優れている。
教室の窓側は、はき
だしができるよう、教
室一面ペアガラス戸に
なっていた。廊下のガ
ラス戸でペアガラスで
ない所は、冬季に結露
ができ廊下が濡れると
の説明を受けた。
また、教室の広さは
8m×8mと一般的な
教室より広く解放感が
あったが、天井が張つ
てなく、エアコンも無
く、強い雨の時は授業
に支障がでることもあ
るようである。
片品中学校も木造平
屋建ての予定であり、
積雪の関係から基礎部
分を高くすること、
除雪に対する配慮、教
室の天井を張ることと
エアコンの設置を要望
する。

(委員長 千明道太)



沼田中学校 広場



沼田中学校 校舎

委員が慎重に

(スクールバス運行について)

① 29人乗り3台、26人乗り3台、14人乗りの4WD車2台、業者のバス3台、計11台で運行する。

② 中型車6台については、学校統合にかかると、路線バスの廃止(花咲線)による補助金で購入する。

③ 14人乗りは村費で購入し、スクールバス以外に花咲線に午前1便・午後1便を考えている。

④ 運行便は基本的に、朝1便・夕方3便で中学生の早朝練習や延長部活の対応も考えている。

⑤ 尾瀬高校までの高校生バス代を村で補填するよう考えている。また、村内の越バス利用も利用後で請求すれば費用負担を考えている。

問 運転手の雇用について

答 (教育委員会事務局長)

バスと運転手を含めて業者をお願いして、村での雇用は考えていない。

(委員長 千明道太)

第6回定例会

観光産業常任委員会

協議事項

一、平成26年度決算について

問 水道料金の徴収率が60%で滞納が多いが内訳を聞きたい。

答 (農林建設課長)

現年度分の徴収率は93%だが滞納繰越分が28%と低いので徴収率を上げるよう努力をしていく。

二、平成27年度補正予算について

問 若者雇用創出事業の事業委託料864万の内訳は。

答 (副村長)

道の駅整備に向けての基本設計費として計上。(仮称)尾瀬の郷駅整備イメージは、鎌田



尾瀬の郷駅整備が予定されている鎌田商店街

三、所管事務について

問 村道や林道で枝が車の通行に支障があるが対処できないか。

答 (農林建設課長)

点検をして支障箇所は地区と協議しながら対応したい。

問 農業用水の不足対策として水道水の夜間等のオーバー水の有効利用できないか。

答 (農林建設課長)

ピークに合わせて湯水しないように流入量と流出量を決めているが、余剰水を出せる保障もないし、別目的での利用は考えていない。

問 尾瀬の事故が多く観光や防災面でマイナスタが村に対策はあるか。

答 (副村長)

関係者を含めた対策会議で木道整備や注意喚起の看板、ガイドサインによる説明など行っている。



尾瀬の木道

問 振興公社に赤字部門(旅行部)があるがその改善方法は。

答 (副村長)

色々な見直しにより、公社が引き受ける前に比べて赤字額を大幅に減少させているが、今後も募集型旅行など事業の幅を広げて売り上げを伸ばしていきたいよう検討する。

問 白根山の噴火警戒レベルの導入は。

答 (村長)

全国各地で噴火があり万が一に備えてレベル1からレベル3までの基準を決めて入山規制や通行規制をかける。

(委員長 星野栄二)

委員会の管内視察

総務文教常任委員会

平成27年7月14日

■新片品小学校建築現場

7月13日現在で進捗率は32%で屋根を除く2階部分までのコンクリートが打ち終わっていた。12月末までには、完成予定。



プール等の跡地に臨時校舎が建築される



視察先の片品小学校建築現場

■片品中学校

平成28年度から立替えに着手する。プールは27年度中に取り壊す。

■村有林

(東小川字中井地区)

中学校建築に使用する木材(林齢57年生)約1ha及び場所の確認。

■尾瀬ほたか高原スノーパークコース

スタート場所のグラウンドを平成28年度に、自衛隊にお願いし、整備予定。
(委員長 千明道太)

観光産業常任委員会

平成27年7月14日

■村内橋梁(学校橋・三松橋・細工屋橋)

村が管理する橋は70橋あるがその内、橋長15m以上の22橋が国で定める長寿命化修繕計画事業にあたるが、補修工事が進む三松橋、今年度から補強工事に

着手する学校橋や平成29年度から調査設計に入る細工屋橋等の現状を視察した。
点検結果により優先順位をつけ順次補修を行って、安全かつ円滑な道路交通の確保を行う。



今年度から補強工事に着手する学校橋

■尾瀬の郷ソーラーファーム太陽光発電所

東日本大震災発生後に全国各地で再生可能エネルギーの取組みが進んでいるが、築地地区で今年1月から運転開始している太陽光発電所を視察した。発電所は、パネル設置面積38,600㎡で、2,100kwの出力を生み出し、環境に関する負荷軽減にも配慮した施設である。今後、耕作放棄地を利用した太陽光発電



築地地区で稼働している尾瀬の郷ソーラーファーム

■尾瀬ほたか高原スノーパークコース

国民体育大会で利用したスタートフィニッシュ地点は、標高1400m、1500mの準高地に位置し、グリーンゾーンに、陸上などの合宿や自然を感じながらスポーツを楽しめるように、来年度から陸上自衛隊の協力を得て400mトラックの先行整備に着手する予定である。整備計画の進行に伴い情報発信やイベントの計画も進めるべきである。
(委員長 星野栄二)

目黒区民まつり

9月20日(日)東京の目黒区で開催された第39回「目黒区民まつり(愛称:目黒のSUNまつり)」に、都市との交流を進める特別委員会活動の一環として参加してきました。このお祭りは、目黒のさんま祭・ふるさと物産展、被災地復興支援イベント等で構成され、会場の田道広場公園、目黒区民センター、田道小学校には、約32,000人が訪れました。また、目黒川沿いには気仙沼漁港で水揚げされたばかりの炭火焼さんまを目当てに、ぐりと長い行列ができるほどの盛況ぶりでした。

この祭りに参加した片品村議会は、むらづくり観光課職員と地域おこし協力隊の協力を得て、会場に片品村のブースを設け、トマトやトマトジュースの販売、祭りの参加者へのアンケート調査を実施し、片品村のPRと目黒区民との交流に努めてきました。



アンケート調査の様子

(委員長 梅澤志洋)

区民まつり参加者を対象のアンケート調査結果 (調査対象人数は80人)

- 片品村を知っている・・・→63%
- 片品村に行ったことがある・・・→32%
- 尾瀬を知っている・・・→94%
- 尾瀬に行ったことがある・・・→50%
- 尾瀬に行きたいと思う・・・→92%
- 片品のスキー場で行ったことのあるスキー場は
尾瀬戸倉→8% 尾瀬岩鞍→14% 丸沼高原→13%
武尊牧場→9% オグナ→3% かたしな高原→6%
なし→47%
- 片品のスキー場で行ってみたいスキー場は
尾瀬戸倉→12% 尾瀬岩鞍→10% 丸沼高原→15%
武尊牧場→12% オグナ→3% かたしな高原→6%
なし→42%
- 片品の観光で行ってみたいものは
そば打ち体験→13% スキー・スノーボード→11%
キャンプ→9% ピザづくり体験→9% 川・沢遊び→9%
ハイキング→8% 豆腐づくり体験→8% その他→33%

議会活動日誌

7月

27日 総務文教常任委員会先進地視察
(沼田中学校)

8月

4日 給食センター、観光施設、上下水道、
国保、介護の各委員会

6日 議会運営委員会
" 議会全員協議会
" 第5回議会臨時会
" 都市との交流を進める特別委員会

11日 総合計画並びに地方版総合戦略策定
意見交換会

25日 議会運営委員会
" 議会全員協議会

9月

3日 第6回議会定例会（9月議会）開会、
決算説明

9月

4日 決算・補正予算説明会
" 第1回議会広報編集特別委員会

8日 総務文教・観光産業常任委員会
10日 議員会

11日 第6回議会定例会（9月議会）閉会
" 第2回議会広報編集特別委員会

12日 片品中学校体育祭

16日 片品村戦没者追悼式

19日 村内各小学校運動会

20日~21日 目黒区との交流会
(目黒区民まつり片品村コーナー出展)

25日 北保育所運動会

26日 片品保育所・南保育所運動会

27日 片品村収穫祭

28日~29日 檜枝岐村議会との交流会

30日 第3回議会広報編集特別委員会

10月

3日 第57回村民運動会

15日 片品村敬老会

18日 消防団秋季点検

発行 片品村議会

責任者

星野

千里

編集

議会広報編集特別委員会

かたしなフォトギャラリー



片品南小学校運動会



武尊根小学校運動会

12月議会を傍聴しませんか！

次回定例会は、12月4日（金）の予定です。

一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答（全文）は片品村公式ホームページ（HP）にて閲覧できます。HP掲載写真はフルカラーです。

URL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

議会広報編集特別委員会

委員長	星野	精一
副委員長	今井	功
委員	星野	千里
委員	星野	逸雄
委員	高山	悦夫
委員	千明	勉

編集委員長 星野 精一

9月議会は前年度決算議会でもありますが、大切な税の公平性、有効性などの着眼点から活発な議論が持たれた定例会だったと自己評価しております。また補正予算においては児童館設計、道の駅設計予算がしっかりとされた議論、討論の末に議決されたこともお伝えします。現在着工中の片品小学校は平成29年開校を予定し、児童館は平成29年、片品中学校は平成30年完成予定と、大きな税金を投入した教育と福祉の拠点づくりが続きます。私たちは行政のチェック機能としての議会の自覚をより強く持ち、未来、将来から評価される建物にしていきます。村民の皆さんには「主権村民」の意識をこれまで以上に持たせていただき、村政運営を注視していただきたいと願っております。その為にも、皆さんとの大切な接点としての「議会だより」をよりわかり易く開かれたものにすよう心掛けていきます。

編集後記

印刷所 笠原印刷(有)